

令和 7 年度版

法制関係 Q&A

三河小中学校長会法制委員会

目 次

- Q1 学校貸与のタブレット端末使用によるトラブルについて
- Q2 児童間のトラブルにかかる管理責任について
- Q3 いじめに関する保護者対応について
- Q4 校内における暴力や器物破損の行為に対する対応について
- Q5 登下校中の管理責任について
- Q6 保護者面談の録画・録音について
- Q7 顧問が引率しない大会への参加における保護者の送迎中の事故について
- Q8 国外転出児童生徒の対応について
- Q9 部分休業取得者の休憩時間について
- Q10 男性職員の出生時育児休業について
- Q11 育児短時間勤務者の勤務時間の変更について
- Q12 育児短時間勤務者の勤務の割振り変更について
- Q13 勤務の割り振りと時間休について
- Q14 時差勤務について
- Q15 臨時的任用教員の出産に関する対応について
- Q16 再任用教員の勤務について
- Q17 休職(期間更新)審査願の申請中の扱いについて
- Q18 教員の不動産賃貸について

Q1 学校貸与のタブレット端末使用によるトラブルについて

保護者から、我が子を誹謗中傷するような動画が拡散されていると申し出があった。その動画について、学校が貸与している端末が編集に使われていたこと、授業で撮影された画像が使用されたことなど、保護者が学校の責任を訴えてきた。どのような責任を問われるのか。

A1

法律上、学校側の責任(過失責任)が問われるかどうかは個別の対応になるため判断できない。学校の管理下で撮影された画像が使用されたこと、および学校が貸与している端末が使用されたことから、本件は学校の管理監督責任や端末の管理体制など安全配慮義務が問われる可能性もあると考えられる。

Q2 児童間のトラブルにかかる管理責任について

児童Aが運動場で遊んでいた際に小石を投げ、近くにいた児童Bの右目に当たり、失明する事故が起こった。児童Aは日頃から落ち着きがなく、友人間のトラブルも多い。児童Bの保護者が、児童Aの保護者と学校側に対して慰謝料など責任を取れと訴えてきた。学校や保護者は、どのような責任を問われるのか。

A2

休み時間は、学校管理下なので、学校(市町村)は、安全配慮義務が問われ、その事故が予見できたかどうかによって、賠償責任を負う可能性がある。また、加害児童Aの行為が故意または過失が明確であれば、保護者も監督義務の責任を負う可能性がある。

学校は、日頃から児童Aに対して、配慮と安全指導を行う必要がある。

Q3 いじめに関する保護者対応について

「我が子が他の児童からいじめを受けた件について、一連の指導の流れなどの詳細について書面でいただきたい」と保護者から要望があった。もしも、「書面で出す」という対応をとらざるを得ない場合、どのようなことに気を付けて出せばよいのか。

A3

個人情報の保護等に十分に注意を払う。

「書面で出す」という対応をとらざるを得ない場合、書面を得た保護者がどのように扱うかについては制限できないと考える。

いじめに関する対応について、保護者などから文書での回答を求められた場合でも、法令等で書面回答が義務づけられているわけではない。学校側が口頭で回答するか、文書で回答するかは、状況や判断に応じて校長が判断すればよい。

Q4 校内における暴力や器物破損の行為に対する対応について

言動等に対して、注意を受けたり、正しい方向へ促す声かけをされたりした際、自分の感情をコントロールできず激高したり、注意した相手に暴力をふるったりなどの行為をする児童生徒がいる。対応する上で、どんなことに留意すべきか。

A4

学校は、児童生徒が安心して学ぶことができる場でなければならず、問題行動を繰り返す児童生徒には、学校の秩序の維持や他の児童生徒の義務教育を受ける権利を保障する観点からの早急な取組が必要である。学校が最大限の努力をもって指導を行ったにもかかわらず、性行不良であって他の児童生徒の教育の妨げがあると認められる児童生徒があるときは、市町村教育委員会が、その保護者に対して、児童生徒の出席停止を命ずることができる。（学校教育法第35条）。

この出席停止制度は、本人の懲戒という観点からではなく、学校の秩序を維持し、他の児童生徒の義務教育を受ける権利を保障するという観点から設けられている。

なお、平成13年の学校教育法改正により、次の点（ア～ウ）が変わった。

ア 出席停止の要件の明確化

出席停止の基本的な要件は、「性行不良」であることと、「他の児童生徒の教育の妨げがある」と認められることの2つが示されている。

イ 出席停止の手續に関する規定の整備

実際に市町村教育委員会が出席停止を命ずる際には、保護者の意見の聴取を行うこと、出席停止を告げるときには理由及び期間を記載した文書を交付しなければならないことが示された。

ウ 出席停止期間中の児童生徒に対しての学習支援措置の明記

出席停止制度の運用にあたっては、他の児童生徒の安全や教育を受ける権利を保障すると同時に、出席停止措置期間中の当該児童生徒への指導の充実を図ることも重要である。そのため、市町村教育委員会は、出席停止期間中の児童生徒に対して学習支援の措置を講じるよう定められた。

Q5 登下校中の管理責任について

登下校時に、保護者がPTA活動で児童の見守りをしていた際に、危険な行動をした児童を止めようとして、その児童にけがをさせてしまった。その後、児童の保護者から、PTAに損害賠償を求められた。学校は、法的責任を有するか。

A5

原則、登下校中は学校管理下外であり、その途上における事故等について学校は法的責任を有しない。しかし、通学路を指定してこれを利用するよう指導し交通安全教育を行っている限り、安全保持義務は通学中の時間帯にも及んでおり、校長等には通学路の安全を確保すべき義務があるとした判例がある。

このケースで起こった事故は、見守りをしていた保護者の行為による事故である。よって、児童の危険を防ごうとした行為であるとはいえ、PTAの常時活動中に、児童にけがをさせたという過失に対してPTAが法律上の損害賠償責任を負うことになる。PTAが安全互助事業に加入していれば、PTA損害賠償責任保険を使って適用範囲内で補償することになる。しかし、相手の親が病院への送迎費用や精神的負担への慰謝料なども請求してくると、すべてをPTA損害賠償責任保険で対応できるかどうかは状況次第であるため、市町村教育委員会及び市町村 PTA 事務局、県PTA事務局に相談するとよい。

Q6 保護者面談の録画・録音について

保護者との面談で、学校からの回答を録画・録音をしたいという要望について、学校はどう対応すべきか。画像や音声データの拡散が懸念されるため、断ることは可能か。

A6

録画については、肖像権(何人もみだりに自分の姿形を写真に撮られない権利)の侵害に該当するので拒否することができる。本人の承諾なしに撮影を続けるようであれば、面談を取りやめ、その場から立ち去っても構わない。

録音については、現時点で罪に問われるケースはないと認識しているが、その場合、プライバシー侵害や名誉棄損で損害賠償責任を負う可能性があるため、録音データの取扱いには十分注意が必要である。

Q7 顧問が引率しない大会への参加における保護者の送迎中の事故について

大会(中小体連以外)の参加において、保護者及びコーチが引率として大会会場へ向かう途中、保護者の運転する車が事故を起こし、同乗していた生徒がけがをしまった。大会については、学校として参加する意思はなく、顧問も引率できないことを伝えたが、保護者やコーチの要望により、輸送をすべて行うから参加させてほしいというものであった。生徒は、学校名で出場をしている。この場合、学校の責任はどうか。また、競技中の事故における保険の適用はどのようになるのか。

A7

校長が、大会参加を承認していたかどうかが問われる事例である。校長が学校として参加する意思がないと明言していることから、大会参加を承認していないと判断できる。また、生徒が教員の指揮監督下にはなかったため今回の事故については、事故当事者間の問題となる可能性が高い。保険の適用は、部活動ではないので、スポーツ振興センターの保険の適用はされない可能性が高く、事前に任意保険に入っておく必要がある。

また、校長が承認している場合は、校外活動に類するものとなり学校管理下となる。事前の注意や安全配慮義務などの責任が生じた場合、国家賠償法の対象となる。

Q8 国外転出児童生徒の対応について

新1年生に入学予定の児童が、家庭の都合により母親とともに国外に転出をしてしまった。父親へ連絡するが「そのうち帰国する」と話すのみで、一向に帰国する様子がみられず3か月が経過した。この場合の対応についてどのようにすればよいか。国外における母親と児童の居所は不明である。

A8

文部科学省：就学事務 Q&A によると、学齢児童生徒が住民基本台帳法に基づく転出届を出さずに、国外に転出した場合について、その場合には住民票が残るため、それに伴い学齢簿も残ることとなる。このため、可能な限り予め学齢児童生徒の保護者に国外転出の期間が1年以上であるか否かを確認し、1年以上の場合には子の転出届を出してもらうよう、促すことが適当である。転出届が提出されると、住民基本台帳上の記録は消滅され、それに伴い学齢簿も消滅されることとなる。学校からは除籍されることとなる。

一方、保護者に国外転出の期間について確認ができない場合、転出してから1年までは欠席として、1年を超えた場合には、居所が1年以上不明であるときと同様、在学しないものと同様に取り扱い、学齢簿には、居所が不明である旨、異動事項欄に記入し、就学義務の猶予又は免除のあった者と同様に別に簿冊を編製する(簿冊に相当するもの(電子ファイル・データベース等であって1年以上居所不明者が抽出・検索できる仕組みになっているものを含む。))とし、指導要録は別に整理して保存することとなる。

Q9 部分休業取得者の休憩時間について

勤務時間の始めに1時間、終わりに1時間の部分休業を取得する場合、勤務時間は5時間45分となり、6時間未満の勤務時間となる。休憩時間は不要と考えてよいのか。

A9

休憩時間は、必要である。

部分休業は勤務時間の一部を勤務しない制度（地方公務員の育児休業等に関する法律 19 条1項）であり、勤務時間が減るわけではない。したがって勤務時間を8時15分から 16 時 45 分とした場合、始めと終わりに各1時間部分休業を取得する場合であっても、当該職員の勤務時間は他の職員と同様であり、途中に45分の休憩が設定されることになる。

仮に終わりに20分の休憩時間が設定されていると仮定した場合（例えば 16 時から16時 20分）、部分休業の1時間と合わせて退勤時間は1時間20分繰り上がり、15時25分が退勤時刻となることに留意したい。

Q10 男性職員の出生時育児休業について

男性職員が妻の子のために出生時育児休業を取る場合、どのような届出が必要か。
また、補充者の任用について、どのような注意が必要か。

A10

出生時育児休業は男性職員だけが取得できる制度で、通称、「産後パパ育休」（子の出生の日から 57 日までの期間に育児休業を開始し、かつ終了した場合）と呼ばれる。女性職員が育児休業を取得することができない産後休暇期間（出生から57日目まで）を補うものとして、その取得率が向上している。

届出については通常の育児休業に準じているため、「育児休業承認請求書」及び出産予定の分かる証明書（診断書）等を校長に提出する。産後パパ育休の書類提出は、通常の育児休業が 1 月前までに対し、2 週間前までに提出すればよい。

補充者（常勤講師）については、任用は可能である。出産予定日の分かる証明書（診断書）を利用して、育休開始日からの任用は可能となる。出生時育児休業に限って言えば、その開始日の不確定さや期間の短さから、補充者の確保が困難であることが考えられる。

校長として、教職員の育児に関する状況の把握に努め、補充者の確保等の対応をしていきたい。

Q11 育児短時間勤務者の勤務時間の変更について

1 日において3時間55分で週5日の育児短時間勤務者がいる。その職員が1日の勤務時間を4時間55分に変更したいと申し出た。年度途中で、勤務時間の変更は可能か。また、それができる場合、補充者の勤務形態を変更する必要があるか。

A11

育児短時間勤務の年度途中での勤務形態の変更は可能である。

現在の育児短時間勤務(週19時間35分)の承認を一旦取り消し、改めて、別の形態(週24時間35分)の育児短時間勤務の承認をする。

育児短時間勤務の補充については、本務者が時間を変更されれば、時間も変更される。この場合は、19時間10分の勤務を14時間10分に変更となる。

補充者が不利益を被らないようにするためには、教育事務所の管轄内の他校で19時間10分の補充に未補充があれば、他校の勤務をお願いする。

年度途中の育児短時間勤務の時間変更については、可能であるものの補充者の勤務時間にも影響するので、本務者とよく話し合い、慎重に対応する必要がある。

Q12 育短時間勤務者の勤務の割振り変更について

育児短時間勤務者に、勤務時間の割振りを行って、遠足等の学校行事に1日勤務を命じて引率することができるか。また時間外に認定講習等の各種講習に参加して自己研鑽を積むことは認められるか。

A12

育児短時間勤務は、育児のための時間を確保するために承認されているため、その趣旨を考えると、仮に本人の希望があったとしても、本人、学校の事情により勤務の割振り変更をすべきではない。

時間外の認定講習等の各種講習については、例えば本人が可能だと判断しても、勤務時間外の各種講習に参加することは望ましくない。

ただし、時間外のため、私的なものであれば、本人の判断だと考える。

Q13 勤務の割振りと時間休について

勤務の割振りのため午前中の4時間は勤務をしないことになった職員から、その日の午後を年休にして1日休みを取りたいという申し出があった。その際、1日年休を取るのか、それとも時間単位の年休となるのか。

A13

年休を取得して、1日休むことは可能である。その日は、残り3時間45分の勤務であるが、1日の年休を取得するのではなく、年休は4時間取得することになる。

Q14 時差勤務について

職員が「明日、家庭の事情で15分遅く出勤させてほしい」と申し出た。許可して構わないか。

A14

許可して構わない。承認事由が削除され、書類の提出期日は前日まででよい。

働きやすさを整えるとともに、働き方改革への意識向上のためにも、まず、時差勤務の趣旨が変わっていることを教職員に周知していきたい。時差勤務の申請は「時差勤務承認簿」にて、原則、前日までとなっており、「教職員の家庭生活と職業生活の両立を推進する」目的であれば、理由も問わない自由度の高いものである。

授業がある期間は、15 分の早出、もしくは 15 分の遅出を選ぶことしかできない。職務に支障がなく、所属教職員の概ね1割かつ5名程度の範囲において、校長が承認する。また、時差勤務を承認した教職員の勤務区分を所属教職員に周知し、教職員相互の勤務区分を明確にしておく必要がある。

また、長期休業中は、授業がある期間に取得できる 15 分に加えて、15 分刻みで最大 75 分まで、通常の勤務時間帯から前後にずらすことができる。例えば、早朝の涼しいうちから早めに勤務して、早めに退勤することができる。なお、長期休業中については、職員の希望があれば、「学校運営上支障がなければ、所属教職員の概ね1割かつ5名程度の範囲において」という人数を超えて校長は承認することができる。

Q15 臨時的任用教員の出産に関する対応について

臨時的任用教員が妊娠した。制度により育児休業を取ることができない。その教員が出産休暇を取るにあたり、どのような対応が必要か。

A15

その教員は出産休暇と年次休暇を消化した時点で職場復帰するか、育児のために退職となる。母体保護の観点を中心に考慮した上で、授業や給料面を踏まえ、産休のスタートをいつにするか相談するとよい。（通常は出産予定日前8週間だが、予定日前4週間まで可能）臨時的任用教員の出産休暇中の補充は認められない（体育実技等負担軽減のための非常勤講師も認められない）ため、在籍する教員で学級や授業を担当することになる。中学校は各教科の授業への対応に苦慮する場合があるため、授業形態を工夫する必要がある。

児童生徒への影響や在籍する教員の負担を考えると、新たな臨時的任用教員の補充を認めてもらうために、早々と退職を勧めるという考えもある。退職を促す際は、非常に慎重に対応するのがよい。

Q16 再任用教員の勤務について

(来年度に向けた人事を考える場面だと想定します)

1週間当たり19時間20分勤務の短時間再任用職員が2人配置されている。学校としては、2人の勤務を「7時間45分勤務×2日＋3時間50分」とし、2人の勤務ができるだけ重ならないようにしたいと考えた。しかし、再任用職員の1人は、「すでに毎日午後から予定をいれているので4時間50分×4日の勤務しかできない」と主張した。この場合、校長は職員の希望を叶えなければならないのか。

また、この職員は、校務分掌の分担も拒否しているが、職務命令として校務分掌を分担させてよいのか。

A16

規定(※1)によれば、校長は、本人の希望を必ずしも叶えなくてよい。

ただし、短時間勤務を希望している本人の働き方の希望に耳を傾け、学校運営上無理のない範囲で寄り添うことが望ましいと考える。

校務分掌については、正規職員と同様、職務命令として分担する。その際、高齢であることへ配慮するなど、適材適所の校務分掌となるよう配慮する。

このようなトラブルを避けるために、再任用を希望する職員に対して、再任用制度について事前に十分な説明をしておくことが大切である。

※1:学校職員の勤務時間等に関する規則 第三条に「再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員の週休日は、日曜日及び土曜日並びに月曜日から金曜日までの5日間において校長が定める日とし、勤務時間は、一週間ごとの期間について、一日につき7時間45分を超えない範囲内で校長が割り振るものとする。」とある

Q17 休職(期間更新)審査願の申請中の扱いについて

精神的な理由から、年休により度々休んでいる本務者がいる。その後、療養休暇に入ったが、調子がよい時もあり、休職に入るかどうかの判断が難しく、休職審査願の提出が遅くなった。こうした場合、療養休暇(90日)や使える年休日数内に審査結果が出ていなければ、どのような状況になるのか。

A17

欠勤となる。休職発令に際しては、教職員健康審査会の審査が必要となるため、症例によっては、即時の休職発令が困難な場合もある。管理職は、欠勤とならないよう、休職審査に向けて、書類等を整える準備を進めないといけない。

なお、例外として、休職からの復帰後、6月以内に同一の傷病で再度休職とする場合、手続期間内に限り必要最小限度の特定療養休暇(給与が半減になる)が認められることがある。

Q18 教員の不動産賃貸について

「家庭の都合で転居するため、自分が所有して現在住んでいるマンション(2LDK)を他人に貸すことになったが、地方公務員として大丈夫でしょうか。」と職員から相談を受けた。この場合の不動産賃貸は可能か。また、注意すべきことはあるか？

A18

市町村立学校教職員に対する営利企業等従事許可については、市町村教育委員会の権限であり、各市町村の定める基準により許可することとなる。参考として、県立学校教職員についての許可基準に照らし合わせる。

営利企業への従事等の制限に関する取扱要領によれば、「独立家屋以外の建物の賃貸については、貸与することができる独立的に区画された一の部分の数が10室以上であること。」「不動産又は駐車場の賃貸に係る賃貸収入の額(これらを併せて行っている場合には、これらの賃貸に係る賃貸料収入の額の合計額)が年額500万円以上である場合」(営利企業への従事等の制限に関する取扱要領)は、許可を求める必要がある。今回の事案は、所有するマンションが一室のみなので、営利企業の届を出す必要はないと考えるが、市町村ごとの許可基準を確認されたい。ただし、注意するのは、給与以外の収入が発生することになるため、自ら確定申告をきちんとする必要がある。該当の職員には、税務署や税理士に相談をし、税法上からの逸脱のないよう指導、注意喚起をする。

研究主題

小学校における教科担任制の現状と課題について

法 制 委 員 会

1 はじめに

小学校における教科担任制は、教科指導の専門性をもった教員によるきめ細かな指導の充実や教員の負担軽減などを図るために、専科指導教員が加配されている。優先的に専科指導の対象とすべき教科を外国語、理科、算数、体育とし、令和4年度より学習が高度化する小学校高学年において実施され、令和7年度は中学年にその対象を広げている。

そこで、法制委員会では、小学校における教科担任制の実施状況を調査し、制度運営上の意義と課題を整理するとともに、今後の制度の在り方について研究を進めることにした。

2 調査研究活動（令和6年度実施）

- ・県下公立小学校 698 校

尾張 小学校 353 校 三河 小学校 345 校

- ・調査対象になった学校規模とその割合

※学級数には特別支援学級を含まない

過大規模 31学級以上	大規模 19～30学級	標準 12～18学級	小規模 6～11学級	過小規模 1～5学級
1.7%	25.8%	37.7%	29.8%	5.0%

3 調査結果について

(1) 専科指導教員の加配による教科担任制の実施状況について

＜表1 専科指導教員の加配の有無＞

学校規模	過大規模	大規模	標準	小規模	過小規模
加配あり	66.7%	65.2%	53.2%	23.0%	16.7%

※数値には、兼務校での加配も含む

＜表2 教科担任制実施教科（複数回答）＞

教科	外国語	理科	体育	算数
実施割合	48.8%	40.8%	17.8%	16.0%

表1から分かるように、専科指導教員の加配により、過大規模・大規模校の約7割で教科担任制の授業が行われている。また、過小規模・小規模校では約2割となっている。さまざまな教科を担当できる教員が在籍する大規模校に、専科指導教員が加配されていると考えられる。

対象とすべき4教科については、表2より英語科の授業が5割、理科の授業が4割の学校で行われている。専門性が求められる教科や事前の準備に負担の大きな教科で、教科担任制を活用している。

(2) 自主的な教科担任制の実施状況について

＜表3 自主的教科担任制実施の有無＞

学校規模	過大規模	大規模	標準	小規模	過小規模
実施	83.3%	90.8%	85.9%	73.2%	72.2%

専科指導教員の加配ではなく、学校独自で自主的に教科担任制に取り組む学校について調査した表3の結果では、学校規模が過小規模、小規模でも7割を超える学校で教科担任制の取組が行われていることが分かった。役職が授業を担当するなど、各校が工夫して取り組んでいる。

＜表4 教科担任制実施学年（複数回答）＞

学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年
実施割合	96.8%	93.4%	81.0%	73.3%	38.1%	24.9%

表4の実施学年の状況では、5、6年生で9割、3、4年生で7割を超える学校で自主的な取組が行われている。令和4年度からの3年間は、高学年での取組を基本に専科指導教員加配が行われていたが、中学年に

においても、教科担任制の効果を期待し、担任間で授業を交換して取り組んでいる。過小規模校では、低学年も含めた全校で取組を行う学校が3割程度見られた。教科の専門性を生かすために、中学校の教員が小学校へ出向き、授業を担当する地区もあった。

＜表5 教科担任制実施教科(%) (複数回答)＞

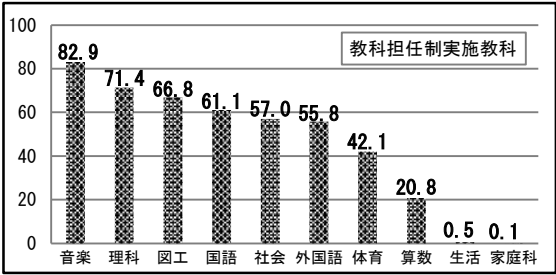


表5から、教科担任制が多く実施される教科として、音楽科 82.9%、理科 71.4%、図画工作科 66.8%が挙げられる。実技や実習、実験などに関する専門的知識を必要とする教科では質の高い授業を行うため、準備に多くの時間がかかる教科では教員の負担軽減を図るため、教科担任制の効果が得られる。その反面、算数科は、専科指導教員の加配校の結果と同じように、実施状況が2割程度となっている。児童の学力の定着度を把握するには、学級担任の力に頼ることが多く、算数科は担任による授業がよいといった意見が聞かれた。

(3) 教科担任制の意義と成果について

＜表6 教科担任制の意義と成果 (複数回答)＞

Q 教科担任制を取り入れたことによる効果は何ですか。	
回 答	割合(%)
・一つの学級に対して多くの教員で関わることにより、多面的な児童理解ができ、諸問題に対して、組織やチームで対応することができる	77.7%
・担当しない教科分の教材研究や準備の時間が削減できる	58.0%
・専門的でより質の高い授業ができる	52.6%
・同じ授業を複数回行うことができるため、さらなる授業改善をすることができる	37.7%
・授業の持ちコマ数が減り、空き時間が増える	36.0%
・各教科の教員が自分の強みを生かすことができる	19.0%
・学校の教科担任の体制に早い段階で慣れることができる(中1ギャップの軽減)	6.6%

表6の教科担任制を取り入れることによる効果は、「一つの学級に対して多くの教員で関わることにより、多面的な児童理解が

でき、諸問題に対して、組織やチームで対応することができる」という回答が77.7%と多かった。また「教材研究や準備の時間が削減できる」、「専門的でより質の高い授業ができる」という回答も半数を超えた。

(4) 教科担任制の充実について

＜表7 教科担任制の充実について (複数回答)＞

Q 教科担任制を充実させるために、今後必要なことは何ですか。	
回 答	割合(%)
・専科指導教員の加配を拡大する	83.3%
・専科指導教員の対象教科を拡大する	69.0%
・高学年から中学年まで対象を広げる	21.4%
・小学校における教員配置で、各免許教科のバランスをよくする	16.5%
・高学年から低・中学年まで対象を広げる	8.7%

表7から、専科指導教員加配拡大を希望する回答が83.3%と非常に多い。小学校は、中学校ほど担任外の教員数が多くないため、現状の教員数では教科担任制の実施が難しい。学校が組織的にチームとなり、児童を指導するには、教員の加配が必要となる。また多くの学校が、現在の対象となる4教科だけでなく、音楽科、図画工作科(表5参照)も含めた対象教科の拡大を希望している。

4 まとめ

- 各校から以下のような意見があった。
- ・児童がさまざまな大人と関わり、多くの大人で児童を見守る体制をつくるため、全小学校での教科担任制の充実を図ってほしい。
 - ・教科担任制は、生徒指導の面や働き方改革の面で効果がある。実施教科の拡大と加配教員の確保を含め、拡充していくことを希望する。
 - ・小規模校は、専科指導教員が加配されないことが多い。担任間の授業交換や役職による授業担当で教科担任制を行うのではなく、学校規模に関わらず、どの学校でも質の高い教育が行われるように、教員の加配を希望する。

本年度も効果的な教科担任制のあり方について、各校の取組が進められている。児童が安心して学びに向かえるように、加配教員の拡充や対象教科の拡大など、校長会として、引き続き関係機関に働きかけていく必要がある。

○ 主たる目標

- ・児童生徒の「生きる力」を育む学校経営に関する研究

○ 事業内容

- ・学校経営に関する研究推進（情報収集、整理研究、広報）
- ・各研究大会に向けての研究推進（研究協議会での事前研修、大会参加の依頼・集約）
- ・愛知県教育振興会と連携した教育的刊行物の編集と啓発推進（「ゆう&ゆう」の執筆、原稿審議、助成事業）

○ 活動報告

- 1 委員会の開催 6/6 豊橋、11/28 岡崎、2/20 岡崎

研究内容の検討、研究大会参加割当立案など

- 2 各研究大会に向けての研究推進（東陸小三重大会・東陸中岐阜大会、全連小福岡・全日中香川大会すべて通常開催）

研究発表事前協議会（研修）を開催 6/6 豊橋、9/5 岡崎

※東陸中福井大会・東陸小愛知大会口頭発表者に発表をしてもらいました。研修も兼ねて協議会として実施しています。

- 3 愛知県教育振興会との連携

- (1) 教育的刊行物の編集作業 計画に則り実施
- (2) 刊行物の広報と注文とりまとめ・啓発推進 随時実施
- (3) 愛知県教育振興会助成事業

※ 親と子のつどい西尾市で開催。R8年度は知立で開催予定。

○ 所見

各研究大会への参加者数や発表の割り当ての調整、参加者への連絡等、県校長会事務局や県学校経営委員会と連絡・調整を図りながら円滑に行うことができた。引き続き、会議の充実を図るとともに、関係団体との連携も密にしながら活動に取り組んでいく。本年度もすべての研究大会が参集型で行われ、それぞれの研修は他地域の校長先生方と直に協議することができ、大変有意義な大会となった。

愛知県教育振興会との共催である教育的刊行物の編集と普及推進については、滞りなく実務を推進することができ、役割を果たすことができた。

今後も、児童生徒の「生きる力」を育む学校経営に関する研究の更なる推進のために、各研究大会の発表等の役割分担や、参加者の調整等を円滑に進め、各地区で実施される事前の研究協議会のいっそうの充実を図り、教育的刊行物の普及とその活用を促進していく。

1 令和8年度研究大会概要ならびに三河参加人数と三河参加者

第61回 東海北陸地区連合小学校長会教育研究 福井大会 期 日：令和8年10月22日（木）・23日（金） 会 場：フェニックスプラザ(福井市) 他 会 費：6,000円 愛知県参加予定人数(名古屋市含む)：191人 三河地区予定人数：67人（三河役員3名含む）＋県役員1人
第78回 全国連合小学校長会研究協議会 北海道大会 期 日：令和8年10月1日（木）・2日（金） 会 場：札幌コンベンションセンター(札幌市) 他 会 費：8,000円 愛知県参加予定人数(名古屋市含む)：95人 三河地区予定人数：32人（三河役員1名含む）＋県役員1人＋県学経1人
第66回 東海北陸中学校長会研究協議会 愛知大会 期 日：令和8年7月2日（木）・3日（金） 会 場：ウインクあいち（名古屋市） 他 会 費：7,500円 愛知県参加予定人数(名古屋市含む)：409人 三河地区予定人数：140人（三河役員3名含む）＋県役員1人
第77回 全日本中学校長会研究協議会 長野大会 期 日：令和8年10月15日（木）・16日（金） 会 場：ホクト文化ホール（長野市） 他 会 費：7,000円 愛知県参加予定人数(名古屋市含む)：56人 三河地区予定人数：17人（三河役員1名含む）＋県役員1人＋県学経1人

2 令和8年度研究大会発表者・司会者等一覧（三河分）

(1) 東海・北陸地区連合小学校長会教育研究福井大会

敬称略

分科会・研究協議題目		発 表 者		
⑫	自立と共生	口頭発表	豊田・浄水北小学校	岩月 由紀子
		司 会	豊田・青木小学校	小山 幾子

(2) 全国連合小学校長会研究協議会北海道大会

発表予定なし

(3) 東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会

敬称略

分科会・研究協議題目		発 表 者		
②	主体的・対話的で深い学び	口頭発表	蒲郡市立蒲郡中学校 (蒲郡市立三谷中学校)	伊藤 孝明 (尾崎 佳孝)
		司 会	蒲郡市立形原中学校	加藤 英雄

(4) 全日本中学校長会研究協議会長野大会

発表予定なし

3 県校長会研究収録執筆予定者（三河分）

敬称略

大会名	執筆校長氏名	学校名
東陸小福井大会	彦坂 繁	蒲郡市立北部小学校
東陸中愛知大会	特別委員	

④進路委員会

1 経過報告

11月 7日 (金) 三河校長会理事会理事会・郡市代表社会
 11日 (火) 三河進路委員会⑤
 12月 19日 (金) 愛知県進路指導中高連絡会②
 1月 14日 (水) 三河校長会理事会理事会・郡市代表者会

竜美丘会館
 三河教育会館
 県教育会館
 リモート

2 連絡事項

12月19日 (金) 愛知県進路指導中高連絡会について

資料1

○令和8年度入試に向けての確認事項

- ・入試当日朝の電話対応について
- ・面接試験の集合時刻の周知方法について
- ・合格者説明会実施日、実施時間の周知について

○令和8年度の中学校の定期テスト、調査書評定について

○令和8年度の私立、専修学校関係の日程について

○令和9年度入学者選抜の日程について

○今後の入試における対応について

3 今後の予定

1月 7日 (水) 私学・専修出願 (推薦・特色) 開始
 高等特別支援学校出願
 9日 (金) 私学・専修出願 (一般) 開始
 10日 (土) 豊田高専入試 (推薦) 発表1/16
 13日 (火) 公立通信前期出願開始
 14日 (水) 私学・専修入試 (推薦・特色)
 16日 (金) 私学・専修合格発表 (推薦・特色)
 19日 (月) 公立連携型選抜出願開始～26日
 21日 (水) 私学・専修入試 (一般)～23日
 25日 (日) ○トヨタ学園～28日 発表2/4頃の予定
 26日 (月) 公立推薦・特色選抜等出願～2/2
 私学・専修入試 (一般) 発表～1/28
 就職一斉選考
 ○デソー学園 発表2/3
 ○トヨタ学園～28日 発表2/4頃の予定
 愛知県名古屋市合同進路委員会⑥
 28日 (水) 公立連携型選抜 発表1/30
 29日 (木) 公立定時制前期出願～2/5
 2月 5日 (木) 公立全日制推薦等面接・検査
 6日 (金) 公立全日制一般出願～14日
 9日 (月) 公立全日制推薦等発表
 13日 (金) 公立定時制前期検査 発表2/18
 17日 (火) 公立志願変更
 25日 (水) 公立全日制高校学力検査 (一般)
 26日 (木) Aグループ面接検査
 27日 (金) Bグループ面接検査
 3月 3日 (火) 一般追検査
 5日 (木) 公立定時制後期出願～12日
 6日 (金) 中学校卒業式
 10日 (火) 公立高校入学者選抜 合格発表
 二次募集出願～12日
 11日 (水) 公立通信制後期出願～18日
 17日 (火) 二次学力検査 発表18日

県教育会館

愛知県進路指導中高連絡会

令和7年12月19日（金）13：30～
（愛知県小中学校長会事務局会議室）

1 R8年度入試に向けての確認事項

（確認）

- （1）入試当日朝の電話対応について
- ・ 朝7時30分に留守電を解除し、中学校からの連絡に対応
- （2）面接試験の集合時刻の周知について
- ・ 受付の締切日の翌日までに各校のWebページに掲載
- （3）合格者説明会実施日・実施時間等の周知について
- ・ 各校のWebページに掲載
- ※ 地区ごとの「合格者説明会実施日等一覧」の作成にご協力をお願いします。
- （4）その他
- ・ 推薦・特色選抜実施要項の受領について

2 R8年度の中学校の定期テストについて

（情報提供）

- 2学期末（2学期制の地区は後期中間テスト）資料 2
 - 11月18日を含む日程もしくはそれ以降で実施
 - R8年度は、3日間実施の場合16・17・18日の実施も可。
- 調査書評定はこれまで同様に12月末（2学期末）評定で作成する。
 - 2学期制、3学期制に限らず、4月～12月末の積算評定（第3学年における4月から12月末までの状況を総合した評定）を使用。
 - 多くの自治体で私立高校も同様の扱い

3 R8年度の私立高校・専修学校関係の日程について

（情報提供）

〈私立高校・専修学校合同説明会〉

- 私立高校合同説明会

【名古屋・尾張地区】

- ・ 9月 8日（火）13:00～ 名古屋市教育センター 講堂
- ・ 9月 9日（水）13:00～ 名古屋市教育センター 講堂
- ・ 9月10日（木）13:00～ 名古屋市教育センター 講堂

【西三河地区】

- ・ 9月15日（火）14:00～ 西三河 岡崎市竜美丘会館
- ・ 9月16日（水）14:00～ 西三河 岡崎市竜美丘会館

【東三河地区】

- ・ 9月18日（金）13:30～ 東三河 ロワジールホテル豊橋

- 専修学校高等課程合同説明会

- ・ 9月25日（金）13:30～ 名古屋市教育センター 講堂
- ・ 9月29日（火）13:30～ 名古屋市教育センター 講堂

[参考]

〈R7年度 私学展・専修学校展〉

- 愛知の私立学校展
 - ・ 8月22日(金)・23日(土) 吹上ホール
- 愛知県高等専修学校展
 - ・ 9月13日(土) ナディアパーク3階 デザインホール

〈R7年度 県立高校進学フェア〉

- 地区全体型
 - 【東三河地区】 8月 2日(土) 豊橋商工会議所
 - 【尾張・名古屋地区】 8月 3日(日) 吹上ホール
 - 【西三河地区】 8月 4日(月) 刈谷市産業振興センター
- 地元密着型
 - 【尾西地区】 5月31日(土) 津島市文化会館
 - 【尾東地区】 6月 7日(土) 瀬戸市文化センター・グリーンパレス春日井
 - 【尾中地区】 6月 8日(日) 一宮スポーツ文化センター
 - 【尾北地区】 7月12日(土) 江南市民文化会館
 - 【知多地区】 8月27日(水) 東海市芸術劇場・半田市福祉文化会館

〈名古屋市立 高校&大学フェア2024〉

- 10月11日(土) 名古屋市立大学 滝子キャンパス2号館

4 R9入試関連の日程について

(確認)

- ・ R9年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施日程について
- ・ R9年度私立高等学校入学試験関連日程について

資料3

資料4

5 今後の入試における対応について

(意見交換)

- (1) 公立入試における中高間の対応(覚え書き)
- (2) 要録等の受領について
 - ・ 二次元コードの活用

資料5

資料6

6 その他

(確認)

- ・ R8愛知県の「会議、行事を行わない期間」 8/10(月)～16(日)
- ・ R8名古屋市の「学校閉庁日」 8/10(月)～14(金)

修学旅行特別委員会 報告資料

1 経過報告

- 10 月 17 日（金） 第 2 回東海三県中学校修学旅行委員会 安保ホール
- 11 月 11 日（火） 第 3 回合同修学旅行特別委員会 県教育会館
- 11 月 18 日（火） 日本修学旅行協会愛知県支部研究発表会 名古屋都市センター
- 12 月上旬 令和 7 年度中学校修学旅行実態調査のまとめ配付
- 1 月 9 日（金） 第 4 回合同修学旅行特別委員会 アイリス愛知

2 「令和 7 年度中学校修学旅行実態調査のまとめ」に見られる状況

【実施状況】三河全中学校が予定通り実施できた。

【実施時期】5・6 月に集中しているが、秋季実施校もある。（なお、令和 9 年度からは連合体利用可能期間を秋季にも拡大していく。）

【参加生徒数】生徒の参加率が通常級 97.2%、特別支援級 87.3%。主な不参加理由は「不登校」と「保護者判断」となっている。

【生徒の支払額】多くの学校が 6 万円台であるが、7 万円台の学校も増加している。令和 6 年度調査より約 2 千円、令和 5 年度より約 5 千円増加している。

【修学旅行内容】東京、横浜、鎌倉、千葉を目的地とする学校以外に、本年度は大阪方面が増加。伊豆高原や富士五湖は減少傾向にある。

【分散学習、体験学習に取り組んだ学校数】

ほぼ全ての学校で実施している。班別分散、目的・課題別分散学習の取組校が増加している。分散学習時の安全配慮としては、「要所に教員を配置」、「すべての班に携帯電話またはスマートフォンを持たせる」、「分散行動の範囲を限定」等がある。

体験学習では工芸体験を選ぶ学校が多い傾向にある。漁村・農村での体験、マリンスポーツや自然スポーツ体験を実施する学校は減少傾向である。

分散研修の班ごとにシティガイドや学生ボランティア等を配置している学校もある。

【安全対策】安全指導や地震等防災対策としては、修学旅行に係る保険に加入する学校が多く、保険料金も増加傾向にある。

アレルギー対応については、宿泊施設との綿密な打ち合わせ、市販のものであれば成分表の確認、弁当のクール便等での搬送等、個々に合わせて多様な対応をしている。

【課題】物価高騰に伴う費用の高騰がある。特にインバウンドの増加や運行規定の厳格化、運転士不足等によるバス代金の高騰は顕著である。バス代金については、本年度 11 月の改正通知により、中部・関東圏では、

現行より 8%アップとなっているが、これはあくまで最低ラインであり、旅行会社の情報では、次年度 4 月以降は、バス 1 台あたり 12~16 万円/日で推移するとの試算もある。なお、この金額差は、走行距離やシーズン、利用曜日等が主要因である。また、宿泊施設の価格上昇も見込まれており、各校の様々な工夫が求められる。

3 その他

(1) 令和 9 年度修学旅行連合体列車申込について

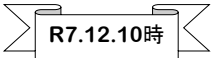
- ・代理店を通じ、J R 東海への修学旅行団体申し込みを行う。期限は以下の通り。
春季（3 ～ 6 月）…2026（令和 8）年 1 月 30 日（金）
夏季（7 ～ 9 月）…2026（令和 8）年 6 月 26 日（金）
秋季（10 ～ 11 月）…2026（令和 8）年 8 月 28 日（金）

(2) 情報交換等で話題になったこと

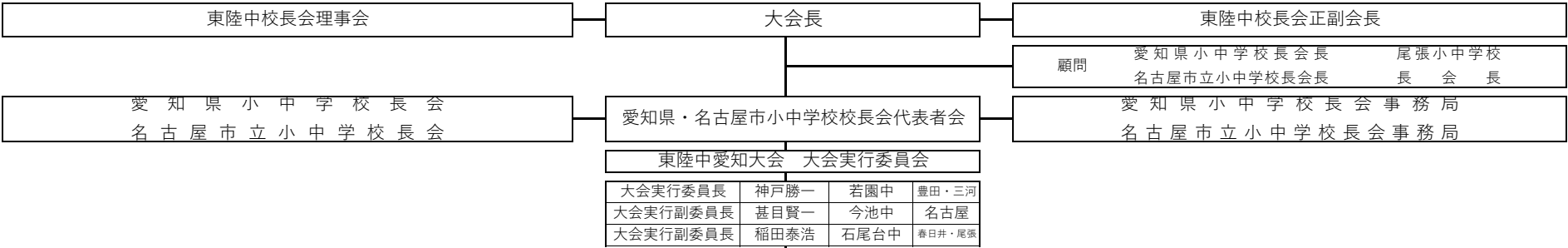
- ・費用高騰を受け、1 泊 2 日の検討、東京方面ではない目的地の変更、T D R の利用を見合わせる等の検討を始めている学校は多い。
- ・旅行業者の入札は、「複数年契約」により旅行費用を削減することができる場合があるため、入札を毎年から複数年に変更している学校もある。
- ・小規模校を中心に入札辞退となるケースが増えている。その対抗策として、小規模校で連合を組んで入札を依頼するという動きもある。
- ・学校の年間計画との兼ね合いから、5 月から 6 月にかけてのいわゆるハイシーズンに集中する傾向は大きくは変わらない。この時期は費用面でも高くなる傾向にある。時期の変更が難しくとも、その中でも費用面で有利な日曜日出発等「実施日程の分散化・平準化」の必要性が高まっている。また、公共交通機関を利用し「バス利用をしない日の設定」や「連合体輸送の積極利用」、「宿泊施設の連泊や郊外化」「体験的活動の縮小」等、工夫している学校もある。

(3) 2 月 17 日(火) 第 3 回東海三県中学校修学旅行委員会での JR への要望

- ①働き方改革の観点からの連合体復路列車の時間帯の 30 分程度の繰り上げ。
- ②名古屋駅発 10 時以降、名古屋駅着 16 時前着という組み合わせコースの設定。
- ③連合体利用不可日程の早期提示。
- ④列車運休の際の速やかな情報提供。
- ⑤南海トラフ臨時情報（巨大地震注意及び巨大地震警戒）の発表時の以下の対応。
 - ・自治体判断や保護者要望で修学旅行を中断、中止、延期時の場合、キャンセル承認及びキャンセル料を不問とすること。延期日程での新幹線の座席確保及び連合体輸送価格での提供。
 - ・実施時、自治体判断や保護者要望で旅行を中断し帰路につかざるを得ない場合、復路予定の新幹線キャンセルの承認およびキャンセル料を不問とするとともに、前倒し日程での新幹線の座席の優先的確保への配慮。



東陸中愛知大会実行委員会組織表（役割分担表）



R 6 ・ 7 年度

合同委員会メンバー
(合同委員会に出席)

R 7 年度

(作業部会に出席)

R 8 年度

主に三河地区から
実行委員を追加
(大会当日の実働部員)

1 総務部			
部長	神戸 勝一	若園中	豊田
副部長	甚目 賢一	今池中	名古屋
副部長	高木 順二	犬山中	尾張

2 会計部			
部長	尾崎 淳一	竜北中	知立
副部長	武内 真人	楠中	名古屋
副部長	倉橋 裕二	尾西第一中	尾張

3 研究部			
部長	田中 基明	金屋中	豊川
副部長	稲田 泰浩	石尾台中	春日井・尾張
副部長	鈴木 貴明	牧の池中	名古屋

4 会場部			
部長	原田 正樹	東山中	安城
副部長	櫛田 さゆり	美和中	あま・尾張
副部長	二階 千晶	豊国中	名古屋

5 会員部			
部長	佐野 裕哉	東陽中	豊橋・三河
副部長	青木 俊	(東浦) 北部中	知多郡・尾張
副部長	松坂 圭子	鎌倉台中	名古屋

6 宿泊部			
部長	河合 宏則	東部中	豊橋・三河
副部長	深谷 幸弘	植田中	名古屋
副部長	加納 有希	大里東中	尾張

係	氏名	校名	ブロック
①庶務統括	松井 幹宗	松平中	豊田
②渉外	松原 秀敏	崇化館中	豊田
③全体進行	杉山 和弘	浄水中	豊田
④記録写真	山本 俊輔	三好丘中	みよし

⑤会計部

係	氏名	校名	ブロック
⑥分科会運営	小林 和弘	代田中	豊川
⑦分科会記録	兵藤 輝徳	六ツ美中	岡崎
⑧大会誌等編集	林 正彦	新香山中	岡崎
⑨宣言・集録	榊原 和憲	雁が音中	刈谷

係	氏名	校名	ブロック
⑩全体会会場	杉浦 哲	西端中	碧南
⑪分科会会場	今井 厚志	明祥中	安城

係	氏名	校名	ブロック
⑫受付・案内	内藤 靖夫	吉田方中	豊橋
⑬接待	小川 純子	中部中	蒲郡
⑭申込警備・救護	松本 和也	八名中	新城

係	氏名	校名	ブロック
⑮宿泊	平野 光也	本郷中	豊橋
⑯レセプション	井上 勝哉	寺津中	西尾
⑰サポート	丹下 義輝	岩津中	岡崎

②報道対応			
報道受付	吉田 修	下山中	豊田
③講演補助			
PC対応・操作	仲田 英成	高橋中	豊田
投影用カメラ操作	伊藤 宏志	上郷中	豊田
	吉野 薫	逢妻中	豊田
	佐久間政明	前林中	豊田
③講師案内			
駐車場へ出迎え	平井 千夏	末野原中	豊田
控室へ案内	山田 人巳	足助中	豊田
④記録写真			
記録写真	日置 睦親	南中	みよし
	近藤 克幸	南部中	幸田

全体会司会者候補			
	水野 美和	石野中	豊田

⑥分科会運営責任者			
第1分科会	袴田 欽哉	一宮中	豊川
第2分科会	尾崎 佳孝	三谷中	蒲郡
第3分科会	大須賀洋子	音羽中	豊川
第4分科会	榎谷 幸郎	小坂井中	豊川
第5分科会	白井 貴也	西部中	豊川
第6分科会	石原 竹春	東中	碧南
第7分科会	山岸 芳樹	中央中	碧南
第8分科会	小澤 良充	西浦中	蒲郡
⑦分科会記録係			
第1分科会	石原 昌仁	美川中	岡崎
	安藤 眞樹	竜海中	岡崎
第2分科会	太田 幹也	葵中	岡崎
	手島 英樹	福岡中	岡崎
第3分科会	鈴木 淳司	河合中	岡崎
	浅井 真人	矢作中	岡崎
第4分科会	板倉 眞介	北中	岡崎
	成田 隆行	六ツ美北中	岡崎
第5分科会	竹端 達治	猿投台中	豊田
	日高 則行	梅坪台中	豊田
第6分科会	今田 良人	井郷中	豊田
	長嶋 英子	小原中	豊田
第7分科会	近藤 宣広	旭中	豊田
	加藤 幸晴	藤岡南中	豊田
第8分科会	小山 真司	美里中	豊田
	山田 圭	藤岡中	豊田

⑩全体会会場			
舞台セッティング	溝口 雅喜	新川中	碧南
	森川 和浩	南中	碧南
	福本 秀昭	中部中	豊川
	峯村 邦泰	御津中	豊川
	三牧 秀和	高浜中	高浜
客席	永井 隆	しおさい	西尾
	石川 幸浩	塩津中	蒲郡
	多田 敦	大塚中	蒲郡
⑪分科会会場			
第1分科会	安田 雅人	安祥中	安城
第2分科会	都築 智	安城南	安城
第3分科会	香村 直廣	安城北中	安城
第4分科会	山本 健一	篠目中	安城
第5分科会	高畑 泰志	刈谷東中	刈谷
第6分科会	役職定年	朝日中	刈谷
第7分科会	役職定年	刈谷南中	刈谷
第8分科会	役職定年	富士松中	刈谷

⑫受付・案内			
分科会案内 (正面玄関)	石積 紀尚	牟呂中	豊橋
	芳賀 俊行	南部中	豊橋
	石場 治	二川中	豊橋
	白井 尚見	石巻中	豊橋
	住田政大郎	章南中	豊橋
	兼子 明	吉良中	西尾
	半田 憲生	鶴城中	西尾
	齋藤 茂樹	平坂中	西尾
分科会受付	清田 将之	赤羽根中	田原
	矢野 正明	福江中	田原
	近藤 智彦	東部中	田原
	丸山 哲文	鳳来中	新城
	鈴木 則明	東郷中	新城
	岡 秀之	南中	岡崎
	竹平 真仁	竜南中	岡崎
	長谷川勝一	東海中	岡崎
全体会案内	小田 英宣	翔南中	岡崎
	鈴木 康孔	南部中	豊川
	星川 敏成	東部中	豊川
	清水美智男	南中	高浜
	福井 信也	知立南中	知立
	村山 由久	知立中	知立
	齋藤 英二	幡豆中	西尾
	夏目 貴司	東栄中	北設
全体会受付	原田 基寛	豊根中	北設
	堀井 章行	北部中	豊橋
	近藤 英治	南陽中	豊橋
	鈴木 宏卓	五並中	豊橋
	石川 立恵	高師台中	豊橋
	渡谷 礼史	東陵中	豊橋
	⑬接待		
	来賓案内	佐藤 正一	保見中

⑮宿泊			
	野澤 康典	羽田中	豊橋
⑯レセプション			
	伊藤 宏	福地中学校	西尾

50	豊橋				
51	豊橋				
52	豊橋				
53	豊橋				
54	豊橋				
55	西尾	尾張			名古屋
56	西尾	尾張			名古屋
57	西尾	尾張			名古屋
58	田原	尾張			名古屋
59	田原	尾張			名古屋
60	田原	尾張			名古屋
61	新城	尾張			名古屋
62	新城	尾張			名古屋
63	岡崎				
64	岡崎				
65	岡崎				
66	岡崎				
67	豊川				
68	豊川				
69	高浜				
70	知立				
71	知立				
72	西尾				
73	北設				
74	北設				
75	豊橋				
76	豊橋				
77	豊橋				
78	豊橋				
79	豊橋				
80	名古屋	尾張			
81	豊田				
82	豊田				
83	豊橋				
84	豊橋				
85	豊橋				
86	豊田				
87	豊田				
88	豊田				
⑭申込・警備・救護					
89	新城	作手中	新城		
90	新城	新城中	新城		
89	豊田	朝日丘中	豊田		
90	豊田	稲武中	豊田		

分科会 発表者・司会者・運営責任者 一覧表

(愛知大会 1日目 分科会協議 令和8年7月2日)

(敬称略)

分科会	研究題	発表者		司会者		運営責任者(愛知県)仮	会場
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	静岡	高橋 賢 熱海市立初島中学校	愛知	寺田 太郎 名古屋市立矢田中学校	袴田 欽哉 豊川市立一宮中学校	ウインクあいち 1201 中会議室A
		三重	澤 健史 伊賀市立柘植中学校	三重	林 秀樹 伊賀市立青山中学校		
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	岐阜	中村 康男 大垣市立東中学校	岐阜	馬淵 勝弘 揖斐川町立揖斐川中学校	尾崎 佳孝 蒲郡市立三谷中学校	ウインクあいち 901 大会議室
		愛知	伊藤 孝明 蒲郡市立蒲郡中学校	愛知	加藤 英雄 蒲郡市立形原中学校		
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む 道德教育の充実	福井	南部 隆幸 福井市大東中学校	愛知	袴田 亜紀 名古屋市立津賀田中学校	大須賀洋子 豊川市立音羽中学校	ウインクあいち 1202 中会議室A
		静岡	山崎 健史 焼津市立和田中学校	静岡	猪山 修一 焼津市立豊田中学校		
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	石川	小川 正清 白山市立鶴来中学校	石川	鶴見 隆之輔 金沢市立北鳴中学校	榎谷 幸郎 豊川市立小坂井中学校	ウインクあいち 903 中会議室B
		岐阜	山内 茂樹 岐阜市立陽南中学校	愛知	相原 剛 名古屋市立守山東中学校		
5	一人一人の社会的・職業的自立に向けた キャリア教育と進路指導の充実	愛知	河下 卓司 名古屋市立助光中学校	愛知	松田 徹 名古屋市立日比野中学校	白井 貴也 豊川市立西部中学校	ウインクあいち 902 大会議室
		富山	藤田 みゆき 高岡市立高岡西部中学校	富山	吉岡 徹 高岡市立福岡中学校		
6	自己指導能力を育成する生徒指導の 充実	三重	山本 時生 熊野市立入鹿中学校	愛知	三谷 康博 名古屋市立港北中学校	石原 竹春 碧南市立東中学校	ウインクあいち 1003 中会議室B
		石川	坂井 学 金沢市立芝原中学校	石川	武藤 勇 石川県加賀市立山中中学校		
7	「令和の日本型学校教育」を担う教師の 育成	三重	柴田 輝 桑名市立多度中学校	三重	森清 知 桑名市立光陵中学校	山岸 芳樹 碧南市立中央中学校	ウインクあいち 1002 大会議室
		愛知	荒木 浩二 長久手市立南中学校	愛知	森 剛人 豊明市立栄中学校		
8	学校と地域の連携・協働による「チーム としての学校」と「働き方改革」の実現	福井	林 裕樹 鯖江市立東陽中学校	福井	渡邊 進午 越前町立宮崎中学校	小澤 良充 蒲郡市立西浦中学校	ウインクあいち 1001 大会議室
		富山	吉田 圭吾 砺波市立般若中学校	愛知	佐々木 太樹 名古屋市立大曾根中学校		

第66回東海北陸中学校長会研究協議会

愛知大会 開催要項



令和8年7月2日(木)・3日(金)

東海北陸中学校長会

愛知県小中学校長会

名古屋市立小中学校長会

第66回東海北陸中学校長会研究協議会 愛知大会 開催概要(案)

1 主 題 「『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育」

2 主 催 東海北陸中学校長会 愛知県小中学校長会 名古屋市立小中学校長会

3 後援(予定) 愛知県・愛知県教育委員会 名古屋市・名古屋市教育委員会
全日本中学校長会

4 期 日 令和8年7月2日(木)・3日(金)

5 会 場 ◇全体会:Niterra 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山一丁目5-1
◇分科会:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 9・10・12 階
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目 4-38
◇理事会:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12 階 1203 中会議室
◇レセプション:サイプレスホテル名古屋駅前
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅二丁目35-24
◇分科会打合せ会場:ウィンクあいち 10 階 1008 小会議室

6 日 程(案)

(1) 1日目 7月2日(木) 理事会・分科会

	11:00	12:00	13:00	13:30	16:30	18:00	20:00
2日 (木)	理事会	分科会 打ち合わせ	受付	分科会		レセプション	

(2) 2日目 7月3日(金) 全体会・記念講演

	9:00	9:30	10:30	12:00	12:20
3日 (金)	受付	全体会 I	記念講演	全体会 II	

(3) 7月2日(木)の日程詳細

理 事 会 11:00～12:00	分科会打合せ 12:00～13:15	分科会 13:30～16:30
ウインクあいち 12 階会議室	ウインクあいち 10 階会議室	各分科会会場
○開催県会長挨拶 ○R7年度会務・会計報告 ○R8年度事業計画・予算 ○大会宣言・決議文 ○愛知大会概要説明 ○次年度開催県より 石川県(基本構想等)	※昼食 ○挨拶 ○分科会の進行確認 運営責任者、会場責任者、 司会者、発表者、記録者の 打合せ	○開会のことば ○研究協議 発表 研究協議 まとめ ○閉会のことば

(4) 7月2日(木)の分科会研究題・分担及び分科会会場

分 科 会	研 究 題	発表	司会	会 場
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	静岡 三重	愛知 三重	1201 中会議室 A
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	岐阜 愛知	岐阜 愛知	901 大会議室
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む道德教育の充実	福井 静岡	愛知 静岡	1202 中会議室 A
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	石川 岐阜	石川 愛知	903 中会議室 B
5	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	愛知 富山	愛知 富山	902 大会議室
6	自己指導能力を育成する生徒指導の充実	三重 石川	愛知 石川	1003 中会議室 B
7	「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	三重 愛知	三重 愛知	1002 大会議室
8	学校と地域の連携・協働による「チームとしての学校」と「働き方改革」の実現	福井 富山	福井 愛知	1001 大会議室

(5) 分科会参加人数要請(会員数の50%、愛知県100%) ※令和7年12月現在

県名	石川	三重	富山	福井	静岡	岐阜	愛知	総計	グループ 数
会員数	84	145	75	68	249	171	409	1201	
参加人数	42	73	38	34	125	86	409	807	
第1分科会	4	9	4	4	15	10	45	91	15
第2分科会	5	9	5	4	18	14	65	120	20
第3分科会	6	9	4	5	15	10	43	92	15
第4分科会	5	7	4	3	11	9	33	72	12
第5分科会	6	10	7	4	18	11	64	120	20
第6分科会	6	8	4	3	11	8	32	72	12
第7分科会	5	11	4	5	19	12	64	120	20
第8分科会	5	10	6	6	18	12	63	120	20
合 計	42	73	38	34	125	86	409	807	134

(6) 7月3日(金)の日程詳細

受付 9:00~9:30	全体会Ⅰ 9:30~10:20	記念講演 10:30~11:50	全体会Ⅱ 12:00~12:20
Niterra 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール			
	○開会式 国歌斉唱 開会の挨拶 来賓祝辞 来賓紹介 大会宣言・決議文	○講演 ・演題 「(現在調整中)」 ・講師 トヨタ自動車株式会社 古賀 伸彦 氏 東 崇徳 氏	○次年度開催県挨拶 ○閉会式 閉会の言葉

7 記念講演

○演題 「ものづくりはひとつづくり ～未来をひらくのは、技術ではなく人の成長～」

○講師 トヨタ自動車株式会社

こが のぶひこ
古賀 伸彦 氏 (未来創生センター センター長 株式会社豊田中央研究所 代表取締役 CEO)



平成 3 年 4 月 入社
平成 13 年 1 月 トヨタモーターヨーロッパ 欧州技術法規渉外 マネージャー
平成 27 年 1 月 技術統括部長
平成 28 年 4 月 未来創生センター 統括部長
平成 31 年 1 月 未来創生センター長 (現在に至る)
令和 3 年 3 月 株式会社豊田中央研究所 顧問
令和 3 年 6 月 同社 代表取締役 CEO 就任 (現在に至る)

あずま たかのり
東 崇徳 氏 (経理本部 本部長)



平成 11 年 4 月 入社
平成 14 年 10 月 厚生労働省 出向2年
平成 26 年 1 月 人材開発部 主幹
平成 26 年 8 月 ブラジルトヨタ 出向3年(TOYOTA DO BRASIL LTDA.)
平成 31 年 1 月 人材開発部 部長
令和 4 年 1 月 総務・人事本部 本部長
令和 5 年 4 月 Chief Human Resources Officer
令和 7 年 1 月 Chief Risk Officer 台湾担当 (統括部長)

8 大会参加費 7,500円

9 大会事務局 東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会事務局
(愛知県小中学校長会事務局)

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄一丁目49-10 愛知県教育会館6F
TEL 052-261-8152

(令和7年度大会以降、シンボルマーク作成は廃止)

第 66 回東海北陸中学校長会研究協議会 愛知大会 研究協議の概要(案)

(第 77 回全日本中学校長会研究協議会長野大会準拠)

Ⅰ 研究協議会主題

「『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育」

2 研究構想

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字をとって「VUCA」の時代とも言われている。これまで少子化・人口減少や高齢化、グローバル化の進展と国際的な地位の低下、地球規模の課題、子供の貧困、格差の固定化と再生産、地域間格差、社会のつながりの希薄化などは、社会の課題として継続的に掲げられてきた。こうした中、新たな感染症の感染拡大の影響や相次ぐ自然災害、国際情勢の不安定化は、正に予測困難な時代を象徴する事態であった。このような危機に対応する強靱さ（レジリエンス）を備えた社会をいかに構築していくかという観点はこれからの重要な課題である。

これからの社会を見据えたとき、現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要であり、「持続可能な社会を創る担い手」という目指すべき姿を実現することが求められている。つまり、今後目指すべき未来社会像は、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人一人が多様な幸せを実現できる、人間中心の社会としての「Society 5.0（超スマート社会）」である。これら社会の現状や変化を踏まえてこれからの社会を展望したとき、教育こそが、社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、人間中心の社会を支えるシステムとなる時代が到来していると言える。将来の予測困難な時代において、一人一人が豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。

令和3年度から全面実施となった学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指して、確かな学力の育成や道德教育の充実、体験活動の重視、豊かな心や健やかな体の育成を改訂の基本的な考え方としている。そのことを踏まえて各学校において、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく

「カリキュラム・マネジメント」に努めるものとしている。また、子供たちが学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められるとしている。

中央教育審議会の『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）では、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、子供たちの資質・能力を確実に育成するためには、学習指導要領を着実に実施していくことが重要であるとしている。その上で、2020年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えた学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「個に応じた指導」を学習者の視点

から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指すとしている。その実現のためには、これまでの学校教育が担ってきた、学習機会と学力を保障するという役割、全人的な発達・成長を保障する役割、人と安全・安心につながるができる居場所としての福祉的な役割を継承しつつ、学校教育を社会に開かれたものとしていくこと、学校教育を支える全ての関係者が、それぞれの役割を果たし、互いにしっかりと連携することで必要な改革を進めていくことが期待されている。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するよう、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、学校教育における様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげられるようにすることも期待されている。同時に、教師の勤務時間管理の徹底や学校及び教師が担う業務の明確化・適正化、教職員定数の改善充実、専門スタッフや外部人材の配置拡充などの学校における働き方改革の強力な推進が必要である。

全日本中学校長会は、全日中新教育ビジョンの趣旨を踏まえ、学校における働き方改革を含めた新たな教育課題に対しても果敢に挑戦し、校長相互の資質向上と目的を明確にした研究を推進することにより、学校経営の更なる充実と学校からの教育改革を進めていかなければならない。そこで、令和8年度第66回東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会において、『『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育』を研究協議会主題として研究を深め、我が国の中学校教育の向上に資するとともに、広く国民の負託に応えたい。

3 分科会研究題と研究の視点

第1分科会 「カリキュラム・マネジメント」の推進

【解説】

予測困難で急激に変化する社会に生きる子供たちは、未知の状況に対応し、新しい時代を切り拓いていく力を身につけなければならない。そのため学校は、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を形成するという目標を社会と共有しながら、子供たちに育成すべき資質・能力を具体的かつ明確に示し、社会と連携・協働して育てていくための「カリキュラム・マネジメント」を推進することが求められる。

子供たちが豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となるためには「生きる力」が必要であり、育成を目指す資質・能力は、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなる。

そこで各学校においては、教科等の目標や内容を見通し、特に学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題に対応して求められる力の育成のために、教科等横断的な学習の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等が求められており、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上に努めることが必要である。

【研究の視点】

- ① 学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を把握し、学習効果の最大化を図るための工夫
- ② 新しい時代に求められる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習基盤となる資質・能力を含む）を育成していくための教科等横断的な教育課程の編成・実施・評価・改善
- ③ 地域の人的・物的資源を有効活用した「社会に開かれた教育課程」の編成・実施・評価・改善

第2分科会 「主体的・対話的で深い学び」の実現

【解説】

VUCA（「Volatility（変動性）」・「Uncertainty（不確実性）」・「Complexity（複雑性）」・「Ambiguity（曖昧性）」）という言葉に代表されるように、先行き不透明で予測困難な時代の中においては、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要である。

そのために、講義型の一斉授業のスタイルから、学習者を主体として他者との協働や課題解決学習などを通じ、深い学習を体験し、自ら思考することを重視する取組が必要になる。その際、自己の主体性を軸にした学びに向かう一人一人の能力や態度を育むという視点をもって、教育課程の編成・実施や質保証の取組を行うことが重要である。

教師には、習得・活用・探究という学びの過程全体を見渡し、個々の内容事項を指導することによって育まれる資質・能力を自覚的に認識しながら、子供たちの変化等を踏まえつつ自ら指導方法を不断に見直し、改善していくことが求められる。その際、「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが大切である。加えて、対面指導の重要性、オンライン教育等の実践で明らかになる成果や課題を踏まえ、発達の段階に応じて、1人1台（一人一台）端末の日常的な活用を「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて推進するとともに、日々の授業改善に取り組んでいくことが必要である。

【研究の視点】

- ① 教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の工夫
- ② 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題を発見し解決する能力の向上
- ③ 全ての子供たちの可能性を引き出す、学習者主体の学びの実現に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実と1人1台（一人一台）端末の活用の推進

第3分科会 よりよく生きようとする意思や能力を育む道德教育の充実

【解説】

全ての人が自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として互いを尊重するとともに、ウェルビーイングな社会を目指し、その実現に向けた社会的包摂を推進する必要がある。学校や地域社会の一員として参画し、自らの個性を生かして幸せに生活でき、誰一人取り残されず一人一人の可能性が最大限に引き出されることができるようにする上で、他者への共感や寛容性、更には多様性を尊重する態度、人間関係を築く力、異なる考えの人々と議論を重ねながら問題を解決していく力などを育成する機会を計画することが重要である。そのためには、学校教育活動全体を通じ道德教育の推進を図るとともに、「特別の教科道德」を要とし、発達の段階に即した計画的、発展的な指導や様々な体験活動等を生かす指導など、道德的諸価値についての理解を基に、人間としての生き方についての考えを深める授業の充実を図り、生徒の道德性を養うことが必要である。

また、現実の問題に対応できる資質・能力を育むためには、道德教育推進教師を中心とした指導体制を充実するとともに、生徒が自分自身の問題と捉え真正面から向き合い、一面的な見方から多面的・多角的に考え議論していく「考え、議論する」道德科の授業を実施することが大切である。

さらに、各学校や地域等が抱える課題に応じた取組を推進するため、家庭や地域社会と育てたい生徒像を共有し、相互の連携強化を図ることも重要である。

【研究の視点】

- ① 道徳的諸価値についての理解と、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- ② 生徒が自ら考え理解し、主体的に道徳性を育むための指導と評価の工夫
- ③ 道徳教育推進教師を中心とした協力的な指導体制の充実

第4分科会 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実

【解説】

生徒の体力の状況については、令和5年度体力合計点を前年度と比較すると横ばい、向上傾向と捉えられる結果だった。生活習慣では朝食欠食とスクリーンタイムは更に増加した。授業に対する意識においては、「楽しい」と感じる生徒は「運動時間」が長く、「総合評価、体力合計点」が高いことを示す結果となった。また、「保健を学習してもっと運動したいと思うようになった」と回答した生徒は、日頃の運動時間が長く、高い体力を有し、将来の運動の継続にも前向きであることが分かった。運動やスポーツを、生涯を通じた健康の保持増進につなげるためには、体の発育・発達や病気の予防、けがの防止などの理解が不可欠であり、引き続き保健体育の学習の充実が求められる。

こうした指摘を踏まえ、生涯を通じて心身共に健康・安全で活力ある生活を送るために必要な資質・能力を育て、心身の調和のとれた発達を図り、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現する基礎を培う必要がある。特に、食育の推進並びに体力の向上に関する指導、運動領域と保健領域、体育分野と保健分野との一層の関連を図った指導に努めなければならない。

【研究の視点】

- ① 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成と体力の向上
- ② 食育の推進及び心身の健康の保持増進に関する指導の充実
- ③ 運動と健康との関連性を深く理解し、より実生活に生かせる保健分野と体育分野の関連を図った授業の充実

第5分科会 一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実

【解説】

今日、日本社会の様々な領域において構造的な変化が進行している。特に産業や経済の分野においてはその変容の度合いが著しく大きく、雇用形態の多様化・流動化にも直結しており、また、学校から職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増え、社会問題ともなっている。このような状況の中、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけていくことができるよう、「キャリア・パスポート」等を活用し、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ることが求められている。各中学校においては、生徒や地域の実態を踏まえつつ、学校のこれまでの取組などを生かしながら、基礎的・汎用的能力に示される4つの能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）を焦点化し、具体的な目標を設定していくことが必要である。また、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うことが重要である。

【研究の視点】

- ① 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する系統的なキャリア教育の充実
- ② 特別活動を要としてつつ教育活動全体を通して取り組まれる組織的・計画的な進路指導の充実
- ③ 学校と地域社会や産業界等が連携・協働した体験的な学習活動の充実

第6分科会 自己指導能力を育成する生徒指導の充実

【解説】

学校教育は、集団での生活や活動を基本としており、生徒相互の人間関係の在り方は、生徒の健全な成長と深く関わっている。好ましい人間関係を基礎に置き自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成することは、人格のよりよい形成と学校生活の充実の基盤となる。昨今、子供たちの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、学校教育には、子供の発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められている。こうした中で、生徒指導は、一人一人が抱える個別の困難や課題に向き合い、「個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達」に資する重要な役割を有している。

平成25年に施行されたいじめ防止対策推進法に基づき、組織的な対応と関係機関との連携の強化等が図られているにもかかわらず、いじめの重大事態の発生件数は増加傾向にある。また、児童生徒の自殺者数や不登校児童生徒数も増加傾向にあることを踏まえ、各学校では組織的、継続的な支援・取組を更に充実させるとともに、家庭や地域及び関係機関、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフ等との連携を一層充実させる必要がある。

【研究の視点】

- ① 好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する学校教育の在り方
- ② いじめ問題への対応や自殺の防止及び不登校生徒への支援の在り方
- ③ 家庭や地域及び関係機関、専門スタッフ等との連携・協力を密にした生徒指導の推進

第7分科会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成

【解説】

「令和の日本型学校教育」を実現し、それを担う質の高い教師となるためには、教師自身が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心をもちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける主体的な姿勢が必要である。

また、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と、「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進化させ、教育の質を向上させる能力、さらに、子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えていることが求められる。今後、あらためて教師が学びに関する高度専門職として認識されるためには、地域や学校現場の課題の解決を通じた学びを含め、自らの日々の経験や他者から学ぶといった「現場の経験」も含む学びのスタイルの多様性の重視は「新たな教師の学びの姿」を構想する上での鍵となる。さらに、子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」を実現していくことや、教師自らが問いを立て実践を積み重ね、振り返り、次につなげていく探究的な学びを、研修実施者及び教師自らがデザインしていくことが求められる。また、教員養成段階から、生徒にプログラミング的思考、情報モラル等に関する資質・能力も含む情報活用能力を身につけさせるためのICT活用指導力を養成することや、学習履歴（スタディ・ログ）の活用などの、教師のデータリテラシーの向上に向けた教育などの充実を図っていくことが求め

られており、現職の教師に対してはICT活用指導力の一層の向上を図ることが急務である。さらに、心理や福祉、看護等の専門スタッフなど多様な人材と協力したり、地域と連携・協働を円滑に行ったりする資質・能力をもち、新たな領域の専門性を身につけるなど強みを伸ばして諸課題の解決に取り組むことができる人材の育成が求められる。

【研究の視点】

- ① 生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教師の育成と「新たな教師の学びの姿」を実現する研修の在り方
- ② 教科等の専門性と指導力、及びICT活用指導力を含めた新たな課題に対応できる力量を高める人材育成と研修の在り方
- ③ 地域等と協働し、組織的に諸課題の解決に取り組むことができる教師の育成

第8分科会 学校と地域の連携・協働による「チームとしての学校」と「働き方改革」の実現

【解説】

学校には、これまでも新たな課題に応じて、司書教諭、栄養教諭等の新しい職が導入されてきた。近年は、ますます複雑化・多様化する教育課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の教員以外の専門スタッフが導入されている。そのため、これからは教職員間のより一層の組織的対応を強化することはもちろん、全てを教職員が担う自己完結型の運営を廃し、これら専門スタッフの配置促進と協働を推し進め、学校内の多様な人材がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮する「チームとしての学校」を実現していくことが求められる。また、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等を活用するなど、「チームとしての学校」と地域の連携体制を整備していくことで、地域とともにある学校づくりを推進し、社会総がかりで教育を進めていくことも求められる。また、その結果として、教師が担うべき業務の精選・明確化などを図り、新たに導入された教員業務支援員、情報通信技術支援員等を活用し、教員の働き方改革につなげていくことや、学校事故の対応等の諸課題について教育委員会等に配置されているスクールロイヤー等を活用しての法的整理を踏まえた役割分担・連携が必要である。さらに、子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域の実情に応じながら、部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備を着実に進めることも求められる。

こうした「チームとしての学校」と「働き方改革」の実現のため、校長は、これまでの教職員の管理を主とするマネジメントから脱却し、多様な知識・経験をもつ人材との連携を強化し、そうした人材を取り込むことで、社会のニーズに対応しつつ、高い教育力をもつ組織となるためのマネジメントを進めていく必要がある。

【研究の視点】

- ① 教職員や多様な人材の専門性を活用し、組織力を高める学校経営の在り方
- ② 「チームとしての学校」と地域の連携・協働体制の在り方
- ③ 専門スタッフ等との連携による教員の働き方改革の実現

Ⅲ 大会参加・宿泊の申込みと各県事務局の取りまとめについて

愛知県小中学校長会ホームページ
 >東陸中愛知大会 開催要項



1. 参加者の申込み手順

- (1) 参加者は、「愛知県小中学校長会ホームページ」から「東陸中愛知大会 開催要項」を開きます。
 「参加申込は、ここをクリック」ボタンをクリックすると申込票をダウンロードできます。
 「参加申込票」(下図)に必要な事項をもれなく(生徒数・分科会番号も)入力し、**保存**します。
※注 「参加申込み」用パスワードは、4月1日以降に各県事務局から通知されます。
- (2) 「参加申込票」のファイル名を「〇〇中 氏名」と変更し、各県(あるいは単位)事務局に送信します。
 (各県事務局の指示により必要に応じて紙媒体も提出します。)

【提出期限：4月17日(金)まで】

第66回 東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会参加申込票

※1 入力後、本ファイル名の()内を貴所属名と氏名に変更し、各県の事務局に送信してください。

※2 本票を印刷し、参加費7,500円を添えて各県の事務局に提出してください。領収書は、愛知大会事務局から発行します。

旅行条件及び旅行手配に必要な範囲内での運送・宿泊機関等への個人情報の提供について同意のうえ申し込みます。

県名	フリガナ 市・町・村立 学校名	生徒数	フリガナ 氏 名	年齢	分科会 番号

学校所在地			TEL・FAX(000-000-0000等)	性別	
〒(000-0000)		TEL			
		FAX			
校長メールアドレス					
役員・司会者・発表者・事務局員・視察のみ選択					

○宿泊の御利用申込票 (近畿日本ツーリスト申し込み関係)
 『愛知大会のご案内』の〇～〇ページをご参照ください。
 ※宿泊をご選択の方は希望の宿泊日に○をご選択ください。

宿泊日	7月2日(木)
希望記号	第1希望 第2希望 第3希望

※必ず第3希望までご入力ください。
 ※ご希望に沿えない場合もございますのでご了承ください。

○2名1室のツインをご希望の方はご入力ください。

同室者名	
------	--

※各都道府県または市町村校長会に部屋割り一任の場合は、同室者名を記入せず、右欄リストから「一任する」を選択してください。

※ご入力頂いた個人情報は、本大会に関連する業務のみに使用し、業務終了後に必ず破棄します。

2. 各県事務局の参加者取りまとめ・参加費の振込み手順

- (1) 各県事務局は参加者から提出された「参加申込票」ファイルを「参加者一覧表」タブに「値貼付け」し、「参加一覧表」に誤りがないかを確認・修正します。

第66回 東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会 参加者名簿個人データ

No.	氏名	学校名	学校名フリガナ	氏名	氏名フリガナ	生徒数	TEL	FAX	年齢	性別	分科会番号	校長メールアドレス	役員番号	宿泊日	希望希望	ツイン	部屋一任	学校〒	学校住所
***														7/3(木)	第1希望 第2希望 第3希望				

※5行目をコピーし、別に配付した参加一覧表に貼り付けてください。
 参考 以下のように入力してください。コピーが簡単になります。

他の大会(例)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	参加者名簿個人データ								
2	第66回 東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会								
3	No.	都道府県名	学校名	学校名フリガナ	氏名	氏名フリガナ	TEL	FAX	年齢
4									

※5行目をコピーし、別に配付した参加一覧表に貼り付けてください。

※入力した個人情報は、本大会に関連する業務のみに使用し、業務終了後に必ず破棄します。

- (2) 「参加者一覧表」を分科会番号順にソートし、並び替えます。
- (3) 各県事務局参加または視察参加の方は、「参加申込票」の分科会番号は空欄に、(図中赤枠A)の欄のリスト(▼)から「事務局」または、「視察」を選び、「参加申込票」を作成し、「参加者一覧表」の最後列に入れます。
- (4) 各県事務局は、「参加者一覧表」のファイル名を「参加者一覧表 (県名)」と変更し、「愛知大会事務局」と宿泊取扱い業者の「近畿日本ツーリスト㈱名古屋教育旅行支店」の2カ所にメールで同時に送信します。(※「参加者一覧表」は、表示が切れてしまいますが、そのまま構いません。)

【提出期限：5月1日(金)まで】

→ 愛知大会事務局	ai-kocho@axel.ocn.ne.jp
→ 近畿日本ツーリスト㈱名古屋教育旅行支店	m.ikedada280@kntct.com

- (5) 各県事務局は、参加費「一人7,500円」×(各都道府県割当数)をまとめて、愛知大会事務局に振り込みます。(※参加費の徴収方法は、各県事務局に一任します。)

【振込期限：5月12日(火)まで】

あいち豊田農業協同組合 吉中支店 (店番 6582-544)

口座番号 普通 0097405

口座名義 東陸中愛知大会

実行委員長 神戸 勝一

※注 変更の場合は、4月1日までに
HP上に更新掲載します。

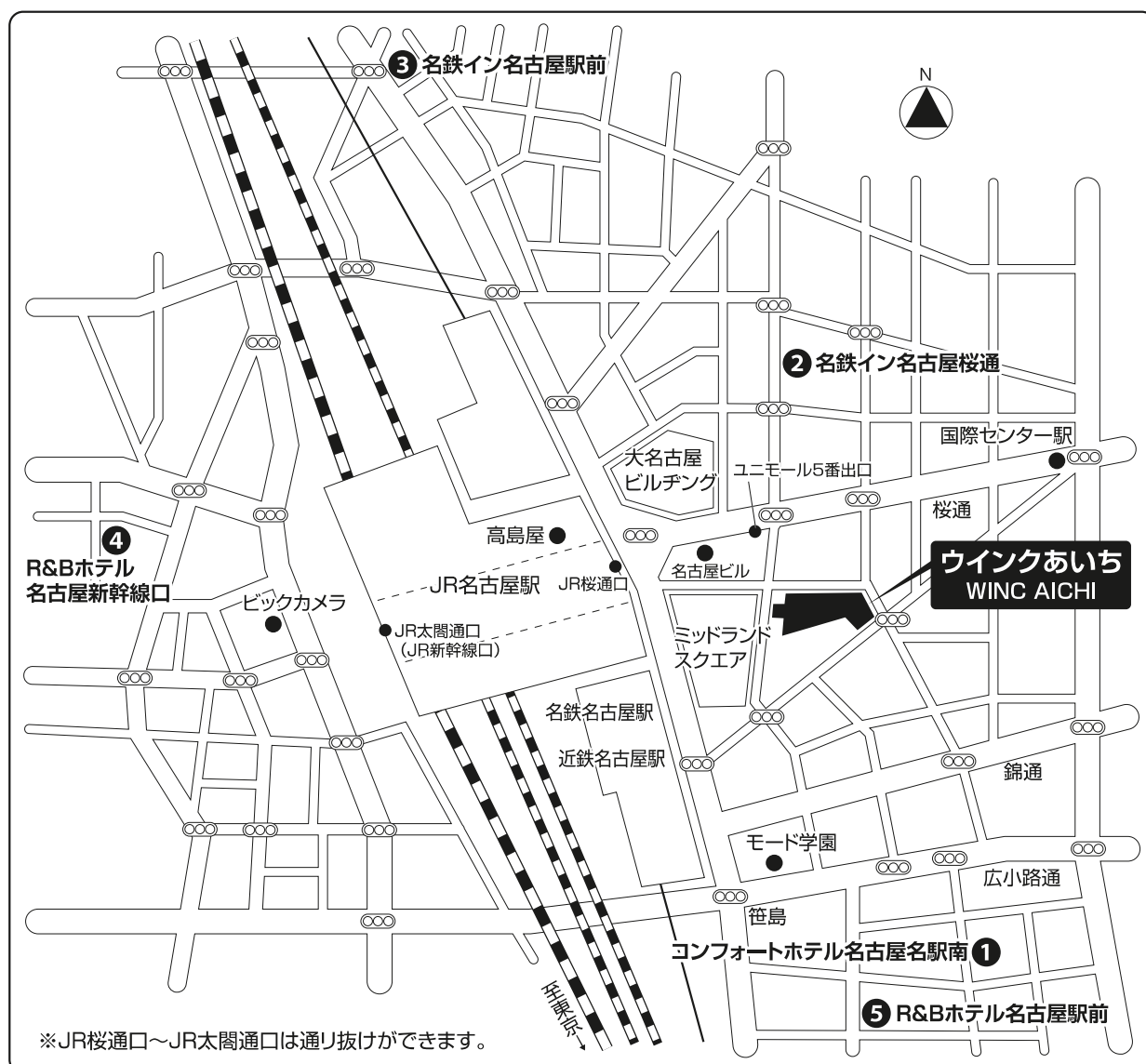
※振込手数料につきましては、各県中学校長会事務局でご負担ください。

- (6) 振込みが完了したら、「振込依頼書」を、Fax または電子メール(pdf)で愛知大会事務局に送信します。

3. 参加者・各県事務局 宿泊申込み後のお支払い及び変更・取消について

※ 未定

ホテルの案内図



番号	ホテル名	料金	住所	電話番号	アクセス
①	コンフォートホテル名古屋駅南	シングル25ルーム 15,000円(税込)	名古屋市中村区 名駅南1-14-16	052-581-7211	J R 桜通口から 徒歩8分
②	名鉄イン名古屋桜通	シングル30ルーム 13,000円(税込)	名古屋市中村区 名駅3-17-21	052-586-3434	J R 桜通口から 徒歩5分
③	名鉄イン名古屋駅前	シングル50ルーム 12,000円(税込)	名古屋市区 名駅2-21-12	052-571-3434	J R 桜通口から 徒歩8分
④	R&Bホテル名古屋新幹線口	シングル50ルーム 12,000円(税込)	名古屋市中村区 則武2-2-13	052-451-8585	J R 太閤通口から 徒歩5分
⑤	R&Bホテル名古屋駅前	シングル80ルーム 11,000円(税込)	名古屋市中村区 名駅南1-19-19	052-564-4040	J R 桜通口から 徒歩8分

※すべて禁煙ルームとなります。※料金は1泊朝食付き、税金・サービス料込の料金です。

第66回 東海北陸中学校長会研究協議会 愛知大会 分科会執筆要項

1 書式設定について（ワードを御使用ください。）

- (1) A4版 横書き 2段組 一行22文字 1ページ行数45行
- (2) 上下余白(上端 20mm、下端 20mm) 左右余白(左端 20mm、右端 20mm)
- (3) 字体は、**MS明朝 10.5ポイント（大項目以外のすべての部分）**とする。
1桁の算用数字は全角で、2桁以上の算用数字は原則、半角で表記してください。
- (4) 大項目は、**MSゴシック 12ポイント 太字**（「I はじめに」など）とする。
- (5) 中項目・小項目は、**MSゴシック 10.5ポイント 太字**とする。
- (6) 写真は、縦10行分×横22文字分を目安とする。

2 装丁について

研究主題、主題名等の書式については、こちらで統一させていただきます。

3 数字及び記号について ※原則として、次の順でお願いします。

I II III ……(MSゴシック 12P)、次に 1 2 3 ……(MSゴシック 10.5P 太字)

以下順に **(1) (2) (3) ……(MSゴシック 10.5P 太字 ※ (1)……全角1文字)**

① ② ③ ……(MSゴシック 10.5P 太字)

ア イ ウ ……(MSゴシック 10.5P 太字) とする。

4 ページ数について

研究主題、主題名等を含め、4ページでお願いします。

5 その他

- (1) 写真は、縦9行×横22文字分を目安に挿入してください。キャプションの有無はお任せします。
キャプションを付ける場合には、本文と混同しないよう【 】や< >などの括弧を使用し、**MSゴシック**で作成してください。
- (2) 分科会当日配布の大会要項（大会誌）には、モノクロ（白黒）印刷で掲載させていただきます。
写真や資料において、カラーならば色で区別できる内容が白黒だと判別しにくくなる場合があります。コントラスト等にご留意ください。

※ **実際に作成するための雛形を次ページから示します。**

テキストボックスや図を消去していただき、このファイルに上書きしていただくとよいかと思ひます。

「カリキュラム・マネジメントの推進」

一 コミュニティ・スクールを基盤とした、地域とともにある学校づくりを目指して 一

〇〇県〇〇立〇〇中学校 〇 〇 〇 〇

I はじめに

2 ○○○○○

★A4×4ページで作成をお願いします。

- ・余白、文字数、フォントなどが設定してあります。
 - ・本文はMS明朝、見出しはMSゴシックでお願いします。
 - ・行数は45行（最大）で設定してあります。
- （次ページに設定の詳細があります）

*テキストボックスや図を消去していただき、このファイルに上書きしてご使用ください。

Ⅱ 研究の内容

1 0000

3 ○○○○○

(1) ○○○○○

A dot plot template consisting of two rows of 20 circles each, for a total of 40 circles. The circles are arranged in a rectangular grid, with 20 circles in the top row and 20 circles in the bottom row.

[次ページへ](#)

「レイアウト」 ⇒ 「ページ設定」

ページ設定

文字数と行数 余白 用紙 その他

文字方向

方向: ☒ 横書き(Z) ☐ 縦書き(V)

段数(C): 2

文字数と行数の指定

☐ 標準の文字数を使う(N) ☒ 文字数と行数を指定する(H)

☐ 行数だけを指定する(Q) ☐ 原稿用紙の設定にする(X)

文字数

文字数(E): 22 (1-24) 字送り(I): 10.45 p

☐ 標準の字送りを使用する(A)

行数

行数(R): 45 (1-50) 行送り(I): 16.15 p

プレビュー

設定対象(Y): 文書全体 グリッド線(W)... フォントの設定(E)...

既定に設定(D) OK キャンセル

ページ設定

文字数と行数 余白 用紙 その他

余白

上(T): 20 mm 下(B): 20 mm

左(L): 20 mm 右(R): 20 mm

とじしろ(S): 0 mm とじしろの位置(U): 左

印刷の向き

縦(P) 横(S)

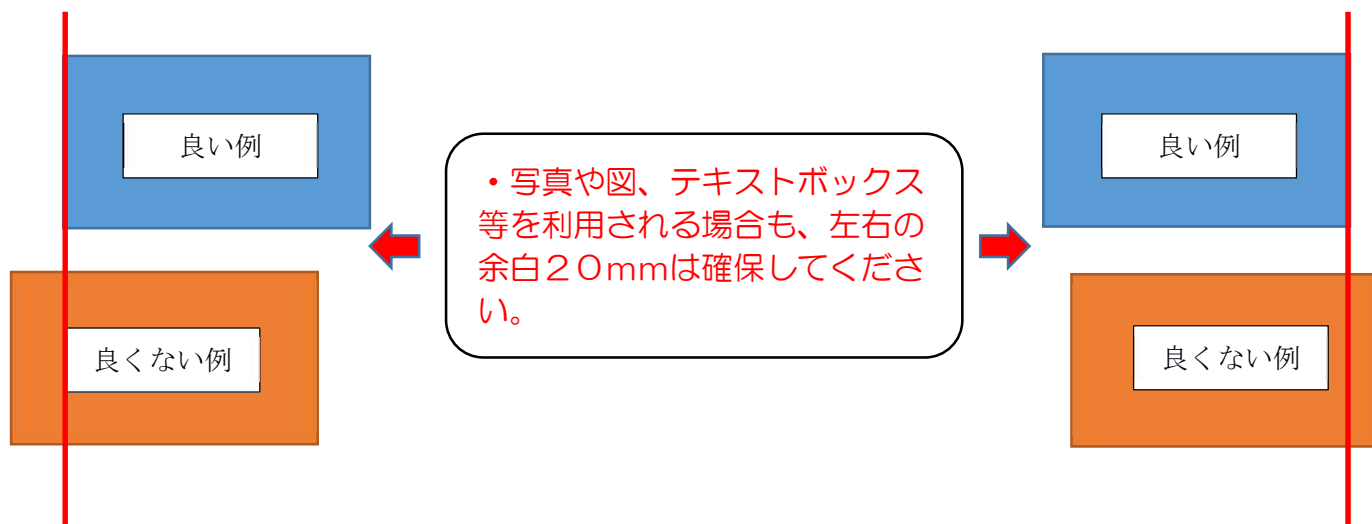
複数ページの印刷設定

印刷の形式(M): 標準

プレビュー

設定対象(Y): 文書全体

既定に設定(D) OK キャンセル



Ⅲ おわりに

○○○○○○○ • • • •

令和7年11月14日

東海北陸中学校長会研究協議会
愛知大会 分科会発表者 様

第66回東海北陸中学校長会研究協議会
愛知大会 実行委員長 神戸 勝一

第66回 東海北陸中学校長会研究協議会 愛知大会
分科会協議会発表原稿の作成と提出について（依頼）

この度は、愛知大会の分科会発表をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。
発表者様には、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、標記のことについて、下記のとおり
ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 送付資料（計10枚）

- ① 発表原稿の作成と提出について（本文書）
- ② 原稿作成資料（研究協議の概要、執筆要項、ひな形）

※発表者変更の場合は、今回の送付文書を含め、確実に引継ぎをお願いいたします。

2 発表分科会

分科会	研 究 題	発表	司会
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	静岡・三重	愛知・三重
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	岐阜・愛知	岐阜・愛知
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	福井・静岡	愛知・静岡
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	石川・岐阜	石川・愛知
5	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	愛知・富山	愛知・富山
6	自己指導能力を育成する生徒指導の充実	三重・石川	愛知・石川
7	「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	三重・愛知	三重・愛知
8	学校と地域の連携・協働による「チームとしての学校」と「働き方改革」の実現	福井・富山	福井・愛知

3 発表原稿の作成等について

- (1) 各分科会の「研究題と研究の視点」に則し、具体的にまとめてください。
- (2) 研究内容と「研究題と研究の視点」との関連については、「はじめに」の中か、または「研究の内容」の冒頭で明確化させてください。

- (3) 写真や資料を適宜挿入（「貼り付け」）してください。その際、画像データ等はできるだけファイルを小さくして、全体の容量を減らすようにお願いします。
- (4) 記述形式については、「執筆要項」に詳細を示しましたので、これに従い原稿の作成をしてください。
- (5) 発表時間は、20 分を予定しています。
- (6) 分科会運営、流れの詳細については、後日、お知らせします。

4 発表原稿提出について

- (1) 原稿ファイルを E-mail で(3)の愛知大会事務局アドレスに送信してください。「3 発表原稿の作成等について」でもお願いしましたが、画像データ等は容量を小さくするなど、ご配慮願います。
- (2) 原稿ファイル送信の期限は、
令和 8（2026）年 4 月 10 日（金）までとします。（期限厳守でお願いします。）
- (3) 発表原稿送付先・問い合わせ先
東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会事務局
愛知県小中学校長会事務局 次長 渡辺 昌爾
〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目 49 の 10 愛知県教育会館 6F
TEL 052-261-8152 FAX 052-261-6807
愛知県小中学校長会 HP <http://aikocho.ec-net.jp/>

OE-mail 送信先 ai-kocho@axel.ocn.ne.jp

5 プレゼンデータ提出について

- ・発表時間は 20 分程度です。協議時間確保のため、プレゼンデータ（Microsoft PowerPoint）を作成する際にはご配慮ください。また、分科会会場で使用するスクリーンは 100inch 程度となりますので、文字ポイントのサイズについてもご配慮ください。
- ・プレゼンで使用する機器は全てリース対応となります。一般的なリース PC のソフトで対応できないものは避けてください。iPad を使用されてのプレゼンには対応できません。
- ・作成したプレゼンデータは、データ便を利用して送信してください。推奨するデータ便の取り扱いについては、次のページで紹介しています。

- (1) プレゼンデータの提出期限は、令和 8（2026）年 5 月 29 日（金）までとします。

- (2) アップロード先推奨 URL <https://datadeliver.net/>

※ 普段使い慣れている他のデータ便でも構いません。

- (3) アップロード先 URL とパスワードの連絡先 及び問い合わせ先
東海北陸中学校長会研究協議会愛知大会事務局
愛知県小中学校長会事務局 次長 渡辺 昌爾
〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目 49 の 10 愛知県教育会館 6F
TEL 052-261-8152 FAX 052-261-6807
(愛知県小中学校長会 HP <http://aikocho.ec-net.jp/>)

E-mail 送信先 ai-kocho@axel.ocn.ne.jp

6 その他

- ・分科会の運営、流れ等の詳細につきましては、現在、本県準備委員会で協議しております。決まりましたら、メール等で連絡させていただきます。

<推奨 データ便> ※ 普段使い慣れている他のデータ便でも構いません。

「データ便」(DATA DELIVER)

取扱業者：株式会社ファルコ（会社 HP <https://fal-co.co.jp/>）

福岡県福岡市中央区今泉 1-12-8 天神 QR ビル 7F

- プレゼンデータのアップロード先 URL <https://datadeliver.net/>

The screenshot shows the Data Deliver website interface. The header includes the logo and navigation links: サービス説明, 料金プラン, 各種操作方法, よくあるご質問, お問い合わせ. The main content area has a 'データを送る' button and a '現在のプラン' section showing 'ライトプラン'. Below this is a 'CHECK!' section with a '広告を消してアップロード' button and a 'ファイル数' / '合計' table showing 0 files and 0 bytes. A large green box prompts users to 'ここに送りたいデータをドロップしてください' (Drop the data you want to send here) with limits: 'アップロード容量: 2GB まで' and 'ファイル数: 100ファイルまで'. Below this is a '有効期限' (Validity Period) section with a dropdown set to '3日' and a calendar icon. The 'セキュリティ便' (Security Service) section has a checkbox and a link '>セキュリティ便とは'. The 'ダウンロードパスワード' (Download Password) section has radio buttons for 'なし' (selected) and 'あり', with a text input field and a 'COPY' button. The 'ダウンロード通知' (Download Notification) section has radio buttons for 'なし' (selected) and 'あり', with a text input field containing 'email@example.com'. The 'アップロード完了通知' (Upload Completion Notification) section has radio buttons for 'なし' (selected) and 'あり'. At the bottom, there is a checkbox for '利用規約に同意します。' and a large green 'ファイルをアップロード' button. Annotations with arrows point to various elements: 'ここに完成した原稿データを入れます。' points to the drop area; '念のため3日以上で設定してください。' points to the validity period dropdown; 'ここを「あり」にし、パスワードを入れます。自分で決めてもサイト任せの「安全なパスワードを生成」でも良いです。' points to the password radio button and input field; 'ここは飛ばしても良いです。' points to the download notification and upload completion notification sections; 'ここにチェックを入れます。' points to the terms of service checkbox; 'ここをクリックすると次の画面に進みます。(ちょっと時間がかかります)' points to the upload button.

ここに完成した原稿データを入れます。

念のため3日以上で設定してください。

ここを「あり」にし、パスワードを入れます。自分で決めてもサイト任せの「安全なパスワードを生成」でも良いです。

ここは飛ばしても良いです。

ここにチェックを入れます。

ここをクリックすると次の画面に進みます。(ちょっと時間がかかります)

 **Uploaded!**

アップロードをキャンセル

▼ダウンロードURLを
ご自身で通知される方
は
こちら

▼データ便で
通知メールを
送る方はこちら

ダウンロードURL 宛先入力画面へ

アップロード内容

お預かりファイル
IMG_7354.jpeg(1.11 MB)

全ファイル容量

← アップロードされました。

続いて、送信作業です。

どちらでも良いのですが、
こっちを選んだほうが楽です。

ご自身のお名前と学校名を入れます。

メールアドレスを入れないと次に進めないようです。

送信者

送信者名

送信者Email

※発信元アドレスは
express008@datadeliver.netとなります
はいたしかねますことご了承ください
※送信者のアドレスはメール内に
入ります。

宛先 (最大100名)

宛名

宛先 (Email)

取り消し

宛名
東陸中愛知大会事務局

宛先 (Email)
ai-kocho@axel.ocn.ne.jp

送信が完了いたしました

データ便からパスワード通知メールを
送る方はこちら

パスワードを通知する

お預かりファイル
IMG_7354.jpeg(1.11 MB)

全ファイル容量
1.11 MB

ファイル数
1

ダウンロード有効期限
2025年10月18日 23:59

送信者

確認画面を経て、入力した宛先（メールアドレス）に
アップロードした場所の URL が送られます。
続けて、「パスワードを通知する」も忘れず行ってください。
それが済んだら、提出完了です。